allcinema

熊座の淡き星影（1965）

VAGHE STELLE DELL’ ORSA
SANDRA: OF A THOUSAND DELIGHTS

メディア　映画
ジャンル　ドラマ　ミステリー
製作国　イタリア
色彩　B&W
時間　100分
初公開日　1982/11/13
公開情報　東宝東和
リバイバル　2003/07/12［ケイブルホーグ］

【解説】

ギリシア悲劇の『エレクトラ』になぞらえた、この中部イタリアの古都が舞台の、貴族階級の孤児院の姉弟の禁断の愛を描いた作品は、ヴィスコンティの絢爛たるデカダン絵巻の後期作風への転回点ともなる重要作。主人公らはまだうら若き男女であり、「イノセント」の醜悪なまでの気高さを持つには至らないが、それでもここに描かれた貴族の滅びの美学は、作者の自らの出自に対する拘りと憐れみを存分に感じさせ興味深い。

結婚まもない米国人の夫と共に、ＮＹでの新生活を前に、故郷ボルテッラの実家を訪れたサンドラ（Ｃ・カルディナーレ）は、幼い時に父をアウシュビッツの収容所で亡くしていた。今や屋敷は再婚後、精神をおかしくした母（Ｍ・ベル）と義父（Ｌ・リッチ）のものであり、弟ジャンニ（Ｊ・ソレル）が肩身の狭い思いで彼らと同居していた。姉と彼との精神的絆は強固で、別々の寄宿学校にやられそうになった際も二人してそれを頑なに拒んだものだった。夫アンドルーは次第にその中に立ち入れないものを感じ始める。彼はまた、不仲の義父と姉弟の間をとりもとうとして失敗。置き手紙を残し、先にＮＹへと発ってしまった。弟は姉に兄弟愛以上の感情を持ち続け、それは今も変わらない。が、姉は弟の気持ちを振り切ってジャンニは衝撃を受ける。屋敷の一部を図書館として町に寄贈したことの返礼の、父の胸像の除幕式が執り行われ、サンドラが出席する一方、ジャンニは自室で服毒自殺を図り、既に事切れていた…。

義父と母が密告して父を逮捕させた疑惑が作品を暗くミステリアスに縁取って、幻灯機で天井に映した星座－－ちょっとしたプラネタリウムに、二人寝床の中で眺め入る…といった姉弟の幼少期の思い出が甘美に綴られるあたり、大変印象深い。

【クレジット】

監督	ルキノ・ヴィスコンティ	Luchino Visconti	
製作	フランコ・クリスタルディ	Franco Cristaldi	
脚本	ルキノ・ヴィスコンティ	Luchino Visconti	
	スーゾ・チェッキ・ダミーコ	Suso Cecchi d’Amico	
	エンリコ・メディオーリ	Enrico Medioli	
撮影	アルマンド・ナンヌッツィ	Armando Nannuzzi	
出演	クラウディア・カルディナーレ	Claudia Cardinale	サンドラ
	ジャン・ソレル	Jean Sorel	ジャンニ
	マイケル・クレイグ	Michael Craig	アンドリュー
	マリー・ベル	Marie Bell	
	レンツォ・リッチ		

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.